

2011年3月期 第1四半期 決算説明会資料

※本資料に含まれる数値は各事業の業績を分かりやすく説明するために使用しており、
財務諸表の数値と異なる場合があります。
※詳しくは各スライドの脚注をご覧ください。



当資料取扱上の注意点

将来に関する記述等についてのご注意

本資料に記載されている、当社又は当社グループに関連する業績見通し、計画、方針、経営戦略、目標、予定、事実の認識・評価等といった、将来に関する記述は、当社が現在入手している情報に基づく、本資料の日付時点における予測、期待、想定、計画、認識、評価等を基礎として記載されているに過ぎません。また、見通し・予想数値を算定するためには、過去に確定し正確に認識された事実以外に、見通し・予想を行うために不可欠となる一定の前提(仮定)を使用しています。これらの記述ないし事実または前提(仮定)については、その性質上、客観的に正確であるという保証も将来その通りに実現するという保証もありません。また、あらたな情報、将来の事象、その他の結果にかかわらず、常に当社が将来の見通しを見直すとは限りません。これらの記述ないし事実または前提(仮定)が、客観的には不正確であったり将来実現しないという可能性の原因となりうるリスクや要因は多数あります。その内、現時点で想定される主なものとして、以下のような事項を挙げることができます(なおかかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません)。

- (1) 喫煙に関する健康上の懸念の増大
- (2) たばこに関する国内外の法令規則による規制等の導入・変更(増税、たばこ製品の販売、マーケティング及び使用に関する政府の規制等)、喫煙に関する民間規制及び政府による調査の影響等
- (3) 国内外の訴訟の動向
- (4) 国内たばこ事業、海外たばこ事業以外へ多角化する当社の能力
- (5) 国際的な事業拡大と、日本国外への投資を成功させる当社の能力
- (6) 市場における他社との競争激化、銘柄嗜好の変化
- (7) 買収やビジネスの多角化に伴う影響
- (8) 国内外の経済状況
- (9) 為替変動及び原材料費の変動

2011年3月期 第1四半期実績



全社業績 : Executive Summary

- 全社業績は売上高はほぼ横ばい、利益は減益となったものの、当初計画に沿って進捗/各事業において当初計画の達成に向けた施策を着実に実行
- 国内たばこ事業は趨勢減に加え定価改定のアナウンス影響等により販売数量が減少するも、注カブランドのシェアは前年度同水準で堅調に推移
 - 10月小売定価改定については申請どおり認可
- 海外たばこ事業は、単価上昇効果および為替のプラス影響によりドルベースでは増収増益/総需要減少による販売数量減となったものの、引き続きシェアは伸長

全社業績：2011年3月期 第1四半期実績

(単位:億円)	2009 4-6月期	2010 4-6月期	増減		2009 4-6月期	2010 4-6月期	増減
調整後税抜売上高 ¹⁾	4,748	4,741	-0.1%				
EBITDA	1,425	1,326	-6.9%				
営業利益	842	791	-6.1%	<参考:のれん償却前>	1,092	1,025	-6.1%
経常利益	788	715	-9.2%		1,037	950	-8.5%
四半期純利益	428	228	-46.7%		678	462	-31.8%

- 国内たばこ事業における販売数量減を海外たばこ事業の増収が補い、調整後税抜売上高はほぼ横ばい、EBITDAは6.9%減
- 経常利益は営業利益の減益および為替差損等営業外損益の悪化により減益
- 四半期純利益は、カナダ政府への過料支払および固定資産売却益の減少により特別損益が悪化し減益

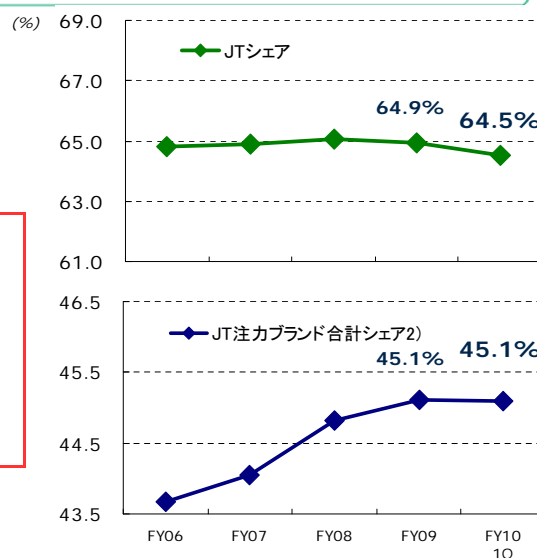
1) 国内たばこ事業における輸入たばこ、国内免税、中国事業等及び海外たばこ事業における物流事業、葉たばこ販売、製造受託等を控除
2) のれん償却影響除き

5



国内たばこ事業：2011年3月期 第1四半期実績

(単位:億本, 億円)	2009 4-6月期	2010 4-6月期	増減
総販売数量	390	359	-7.9%
調整後税抜売上高 ¹⁾	1,583	1,461	-7.7%
EBITDA ³⁾	670	583	-12.9%
営業利益	526	472	-10.2%



- 趨勢減に加え、10月定価改定のアナウンス影響等により販売数量が7.9%減少
- JTシェアは、定価改定アナウンス影響を早めに受け64.5%とやや減少
- 注カブランド²⁾シェアは厳しい環境においても前年度と同水準の45.1%と堅調に推移

1) 輸入たばこ、国内免税、中国事業等を控除
2) マイルドセブン、セブンスター、ピアニッシモ(10年1月にピアニッシモに統合したアイシン、ルーシア込みで遊及)
3) JT1からのロイヤリティー受取前、会計基準の変更に伴う一部共通経費の配賦中止後

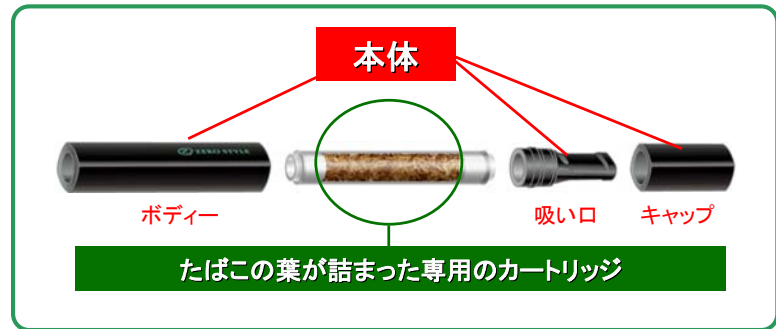
6



3

国内たばこ事業：新たなイノベーションへの挑戦～ゼロスタイル・ミント

- お客様の多様なニーズに応え、たばこを楽しむシーンを拡大する新製品
- 発売以降、本体95万パック、詰め替え用カートリッジ30万パックを販売、税抜売上高は約3億円(2010年6月末現在)
- 製造能力の更なる増強に取り組み、11月以降、安定供給量を確保



このスライドは投資家に業績を説明する目的で作成されたものです。
消費者へのたばこの販売促進もしくは喫煙を促す目的ではありません。

7

ひとの
ときを、
想う。 JT

海外たばこ事業：2011年3月期 第1四半期実績

(単位: 億本、百万US\$)	2009 1-3月期	2010 1-3月期	増減
総販売数量 ¹⁾	1,009	941	-6.8%
GFB販売数量	571	546	-4.4%
調整後税抜売上高 ²⁾	2,148	2,372	+10.4%
調整後千本当税抜売上高 ³⁾ (US\$)	21.5	25.5	+18.6%
\$ベースEBITDA ⁴⁾	789	804	+1.8%
円ベースEBITDA ⁴⁾ (億円)	740	728	-1.5%
【為替中立ベース】			
調整後税抜売上高 ²⁾	2,148	2,185	+1.8%
調整後千本当税抜売上高 ³⁾ (US\$)	21.5	23.5	+9.2%
\$ベースEBITDA ⁴⁾	789	787	-0.3%

- 各国での総需要減少に加え、イランでの不安定な事業環境により、1-3月期の総販売数量およびGFB販売数量は、それぞれ6.8%、4.4%減少
- ほぼ全ての主要市場でシェアは前年比較で増加
- 単価上昇効果および為替のプラス影響により、ドルベースでは10.4%増収、1.8%増益
- 為替中立ベースでは1.8%の増収、EBITDAはほぼフラット
- 円高により円ベースでは若干の減益

1) Private Brand、製造受託を除き、Cigar/Pipe/Smus込み

2) 物流事業、葉たばこ販売、製造受託等を控除

3) Private Brand、製造受託を除き、Cigar/Pipe/Smus込みの総販売数量から、売上高に計上していないJV販売数量を控除

4) JTへのロイヤリティ支払い前

8

ひとの
ときを、
想う。 JT

医薬事業：2011年3月期 第1四半期実績

(単位:億円)	2009 4-6月期	2010 4-6月期	増減
売上高	111	118	+6
EBITDA	△23	△20	+2
営業利益	△32	△30	+2

臨床開発品目(2010年7月29日現在)

開発名	主な適応症	開発段階
JTT-705(経口)	脂質異常症	国内:Phase2
JTT-130(経口)	脂質異常症	国内:Phase2 海外:Phase2
JTK-303(経口)	HIV感染症	国内:Phase1
JTT-302(経口)	脂質異常症	海外:Phase2
JTT-305(経口)	骨粗鬆症	国内:Phase2
JTS-653(経口)	鎮痛、過活動膀胱	国内:Phase2
JTT-654(経口)	2型糖尿病	国内:Phase1 海外:Phase2
JTK-656(経口)	HIV感染症	海外:Phase1
JTT-751(経口)	高リッ血症	国内:Phase2
JTK-853(経口)	C型肝炎	海外:Phase1

phase2に移行

- 鳥居薬品の好調により増収増益
- JTS-653がphase2にステージアップ

食品事業：2011年3月期 第1四半期実績

(単位:億円)	2009 4-6月期	2010 4-6月期	増減
売上高	988	962	-26
飲料事業	469	468	-1
加工食品事業等	519	493	-25
EBITDA	38	40	+1
営業利益	△36	△23	+13



- 加工食品事業で主として外食向け業務用商品の売上減および一部子会社を連結対象外とした影響等により減収
- 基幹ブランド「ルーツ」、ステープル(主食)、調味料(酵母エキス等)への戦力集中による収益力の向上により増益

2011年3月期 海外たばこ事業 1-6月期速報値



海外たばこ事業：2011年3月期 1-6月期速報値Executive Summary

- 調整後税抜売上高は、単価上昇効果および為替のプラス影響により9.2%増収
- 為替中立ベース¹⁾の調整後税抜売上高は4-6月期に成長率が加速し3.8%の増収
- ほぼ全ての主要市場でシェアは前年比較で増加
- 4-6月期の総販売数量減少率は1-3月期に比べ縮小しており、当初想定通り推移

¹⁾前年度の為替レートを使用了した場合

海外たばこ事業：2011年3月期 1-6月期速報値

(単位: 億本、百万US\$)	2010	2010	2010	<速報値 1-6月>		
	1-3月期	4-6月期	1-6月期			
総販売数量 ¹⁾	941 (-6.8%)	1,107 (-3.9%)	2,047 (-5.2%)			
GFB販売数量	546 (-4.4%)	637 (-0.9%)	1,183 (-2.5%)			
調整後 税売上高 ²⁾	2,372 (+10.4%)	2,598 (+8.1%)	4,970 (+9.2%)			
調整後 千本当税売上高 ³⁾ (US\$)	25.5 (+18.6%)	23.7 (+12.4%)	24.5 (+15.3%)	RUB/\$	2009 1-6月期 期中平均レート 33.17	2010 1-6月期 期中平均レート 30.05 10.4%高
【為替中立ベース】 調整後 税売上高 ²⁾	2,185 (+1.8%)	2,541 (+5.7%)	4,727 (+3.8%)	GBP/\$	0.68	0.64 6.0%高
調整後 千本当税売上高 ³⁾ (US\$)	23.5 (+9.2%)	23.2 (+10.0%)	23.3 (+9.6%)	EUR/\$	0.76	0.73 3.9%高
				円ドル	95.59	91.36 4.6%高

- 各国での総需要減少に加え、イランの不安定な事業環境等の特殊要因により、1-6月期の総販売数量およびGFB販売数量は5.2%、2.5%の減少
- 販売数量減少率は1-3月の△6.8%に対し、4-6月期は△3.9%と縮小しており、当初想定通りに推移
- ほぼ全ての主要市場で引き続きシェア伸長
- 調整後税売上高は単価上昇効果および為替のプラス影響により9.2%増収
- 為替中立ベースの調整後税売上高は4-6月期に成長率が加速し3.8%の増収

1) Private Brand、製造受託を除き、Cigar/Pipe/Snus込み

2) 物流事業、葉たばこ販売、製造受託等を控除

3) Private Brand、製造受託を除き、Cigar/Pipe/Snus込みの総販売数量から、売上高に計上していないJV販売数量を控除

13



海外たばこ事業：地域別販売動向

<速報値 1-6月>

【地域別 総販売数量¹⁾成長率】

	2010 1-3月期	2010 4-6月期	2010 1-6月期
Total	-6.8%	-3.9%	-5.2%
S & W Europe	-9.2%	-3.1%	-6.1%
N & C Europe	+6.9%	+4.1%	+5.4%
CIS+	-9.7%	-7.3%	-8.4%
Rest of the World	-5.9%	-0.6%	-3.3%

【地域別 GFB販売数量成長率】

	2010 1-3月期	2010 4-6月期	2010 1-6月期
Total	-4.4%	-0.9%	-2.5%
S & W Europe	-8.9%	-0.9%	-4.9%
N & C Europe	+16.2%	+11.5%	+13.7%
CIS+	-5.3%	-5.3%	-5.3%
Rest of the World	-4.5%	+3.2%	-0.8%

- S&WE: フランスにおけるGFBの成長モメンタムは継続するも、スペイン、イタリアでの前年の在庫調整影響および総需要減少により相殺
- N&CE: UK (Sterling/Amber Leaf)、ポーランド(Camel/LD)のモメンタム継続
- CIS+: 増税に伴う値上により、ロシア、ルーマニアおよびウクライナで大幅に総需要減少
- ROW: カナダおよび中東での成長がイランにおける不安定な事業環境影響により相殺

1) Private Brand、製造受託を除き、Cigar/Pipe/Snus込み

14



海外たばこ事業：主要市場でのシェア

<速報値 1-6月>

	2009年 6月 ¹⁾	2010年 6月 ¹⁾
Italy	17.8%	19.0%
France	14.4%	15.5%
Spain	20.7%	20.7%
UK	40.5%	41.0%
Russia	36.3%	36.9%
Turkey	18.0%	20.4%
Taiwan	39.3%	37.1%

出典: AC Nielsen, Core EPOS及びJTI内部データ

➤ ほぼ全ての主要市場で引き続きシェアが伸長

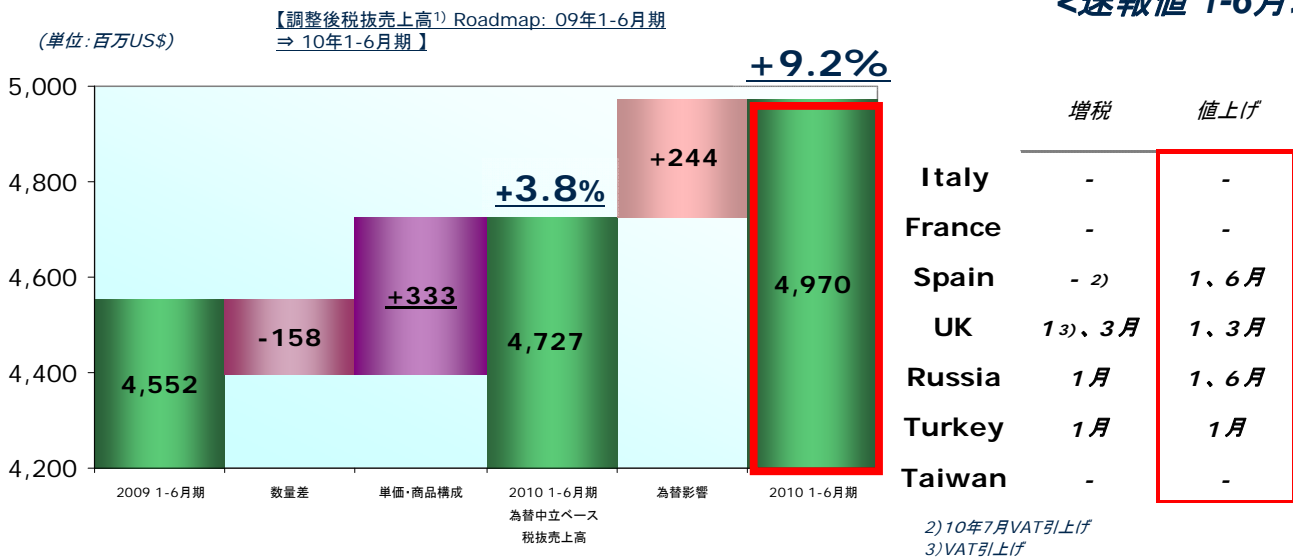
1)12ヶ月移動平均

15



単価上昇効果の貢献

<速報値 1-6月>



➤ 調整後税売上高は単価上昇効果及び為替のプラス影響により9.2%成長

➤ 為替中立ベースの調整後税売上高は4-6月期に成長率が加速し3.8%成長

1)物流事業、葉たばこ販売、製造受託等を控除

16



為替影響について

	2010年 1-12月見込 期中平均レート	2010年7月20日までの 平均 + 7月20日の スポットレートが期末まで 継続した場合のレート	増減率
RUB/USD	29.50	30.27	2.5%安
GBP/USD	0.65	0.65	0.2%安
EUR/USD	0.68	0.76	10.0%安
JPY/USD	90.00	89.60	0.5%高

- 見込前提為替レートは現段階では変更しない
- 2011年3月期見込に対する為替変動の影響(USD vs. JPYを除く全ての主要通貨)
 - 仮にUSDが全ての通貨に対して1%変動するとEBITAIは\$40MM変動
 - 内訳としては、RUB影響45%、GBP影響15%、EUR影響7%

2011年3月期全社業績予想

- 全社業績予想は変更なし
- 国内たばこ事業については仮需要および10月以降の競争状況や総需要の変化が業績に与える影響を見極める必要があることから、現時点で業績予想の修正は行わない
- 海外たばこ事業については、単価上昇効果が成長ドライバーとなり、為替中立ベースEBITDA+6.2%成長達成を目指す

*All the Detailed figures comes to
<Back up data>*

<Back up data No.1 > 海外たばこ事業 GFB販売数量

<速報値 1-6月>

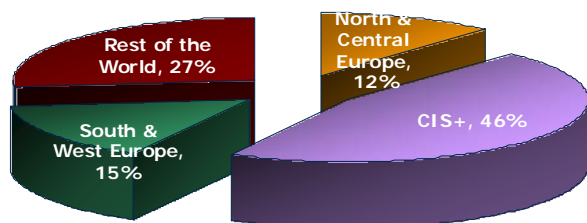
(単位:億本)	2009 1-6月期	2010 1-6月期	増減
GFB volume	1,213	1,183	-2.5%
Winston	612	591	-3.4%
Camel	206	203	-1.5%
Mild Seven	94	93	-1.6%
B&H	54	53	-3.2%
Silk Cut	24	22	-6.8%
LD	162	167	+3.0%
Sobranie	7	5	-17.9%
Glamour	54	49	-10.1%



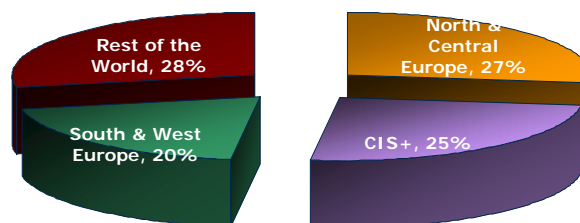
<Back up data No.2> 海外たばこ事業 リージョン別構成比

<速報値 1-6月>

販売数量¹⁾



調整後税抜売上高²⁾



Rest of the Worldに本社調整後税抜売上高含む

1) Private Brand、製造受託を除き、Cigar/Pipe/Snus込み
2) 物流事業、葉たばこ販売、製造受託等を控除

21



<Back up data No.3> 2011年3月期 全社業績予想

(単位: 億円)	2009年度 実績	2010年度 見込	増減率
調整後税抜売上高 ¹⁾	19,809	19,730	-0.4%
EBITDA	5,267	5,130	-2.6%
営業利益	2,965	2,950	-0.5%
経常利益	2,553	2,760	+8.1%
当期純利益	1,384	1,330	-3.9%
ROE(%)	8.6	8.0	-0.6ppt
FCF	2,507	1,350	-46.2%
【のれん償却影響前】			
当期純利益 ²⁾	2,358	2,260	-4.2%
EPS ²⁾	24,621円42銭	23,590円59銭	-4.2%
1株当たり配当金(円)	5,800	5,600	-200
配当性向(%) ²⁾	23.6%	23.7%	+0.1ppt

1) 国内たばこ事業における輸入たばこ、国内免税、中国事業等及び海外たばこ事業における物流事業、葉たばこ販売、製造受託等を控除
2) のれん償却前

22



11

【参考資料】

2011年3月期 第1四半期実績における増減要因の分析



当資料取扱上の注意点

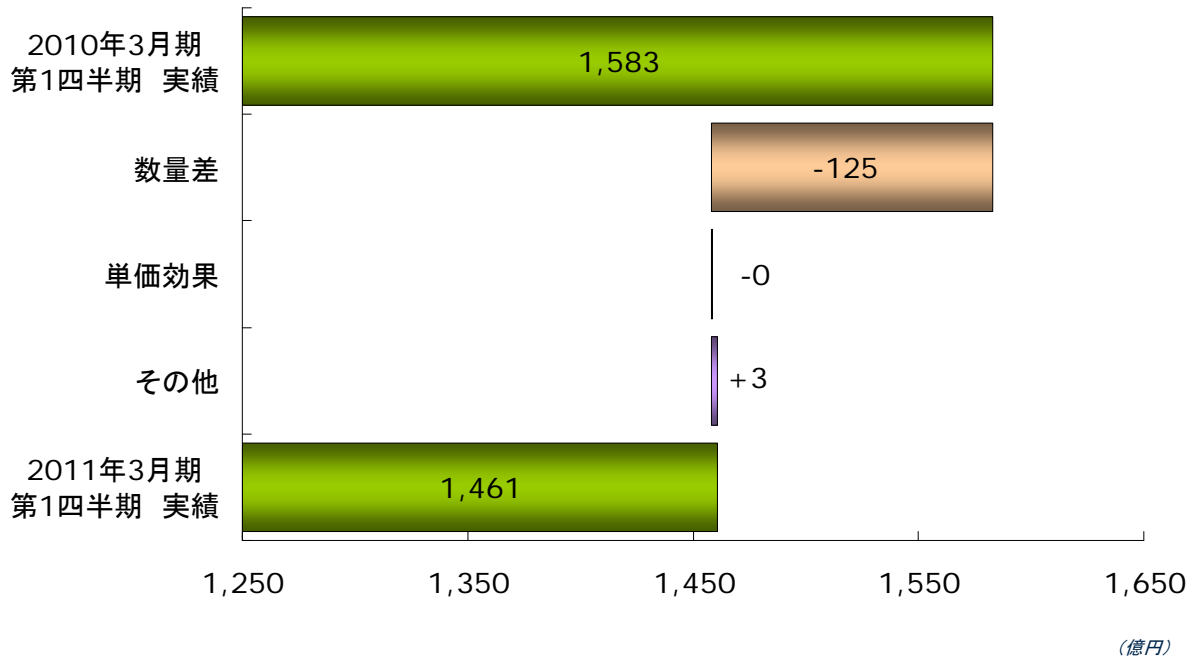
将来に関する記述等についてのご注意

本資料に記載されている、当社又は当社グループに関連する業績見通し、計画、方針、経営戦略、目標、予定、事実の認識・評価等といった、将来に関する記述は、当社が現在入手している情報に基づく、本資料の日付時点における予測、期待、想定、計画、認識、評価等を基礎として記載されているに過ぎません。また、見通し・予想数値を算定するためには、過去に確定し正確に認識された事実以外に、見通し・予想を行うために不可欠となる一定の前提（仮定）を使用しています。これらの記述ないし事実または前提（仮定）については、その性質上、客観的に正確であるという保証も将来その通りに実現するという保証もありません。また、あらたな情報、将来の事象、その他の結果にかかわらず、常に当社が将来の見通しを見直すとは限りません。これらの記述ないし事実または前提（仮定）が、客観的には不正確であったり将来実現しないという可能性の原因となりうるリスクや要因は多数あります。その内、現時点で想定される主なものとして、以下のような事項を挙げることができます（なおかかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません）。

- (1) 喫煙に関する健康上の懸念の増大
- (2) たばこに関する国内外の法令規則による規制等の導入・変更（増税、たばこ製品の販売、マーケティング及び使用に関する政府の規制等）、喫煙に関する民間規制及び政府による調査の影響等
- (3) 国内外の訴訟の動向
- (4) 国内たばこ事業、海外たばこ事業以外へ多角化する当社の能力
- (5) 国際的な事業拡大と、日本国外への投資を成功させる当社の能力
- (6) 市場における他社との競争激化、銘柄嗜好の変化
- (7) 買収やビジネスの多角化に伴う影響
- (8) 国内外の経済状況
- (9) 為替変動及び原材料費の変動

2011年3月期 第1四半期実績

□ 国内たばこ事業 調整後税抜売上高¹⁾



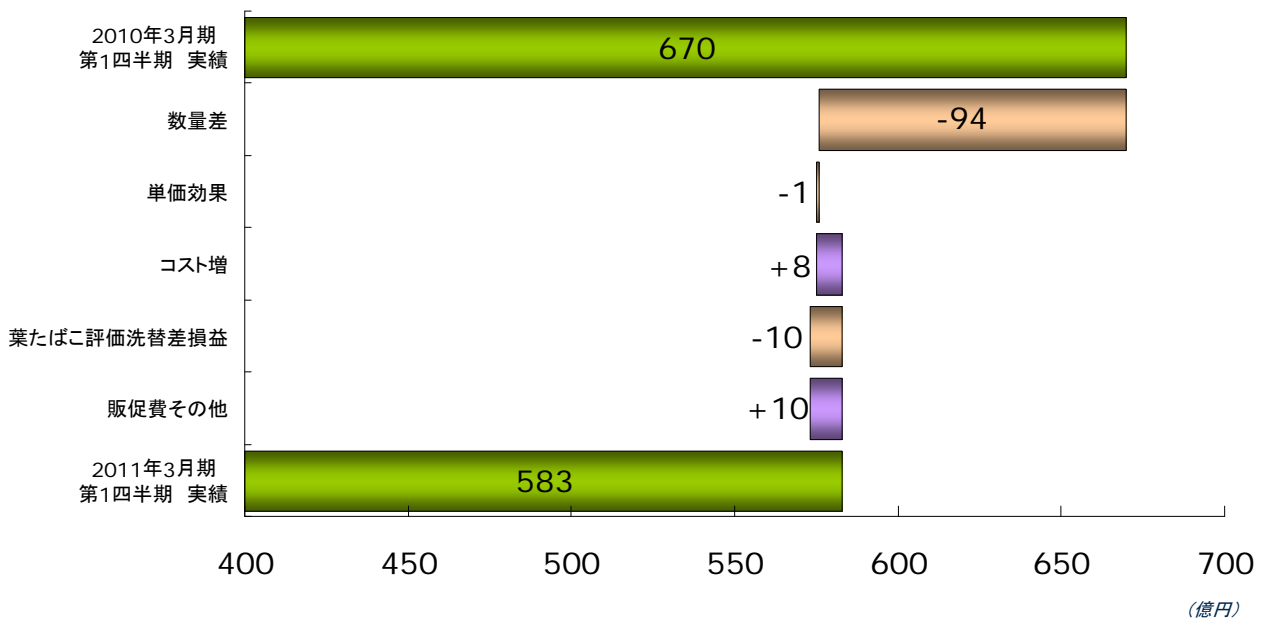
1) 輸入たばこ、国内免税、中国事業等を控除

3



2011年3月期 第1四半期実績

□ 国内たばこ事業 EBITDA¹⁾



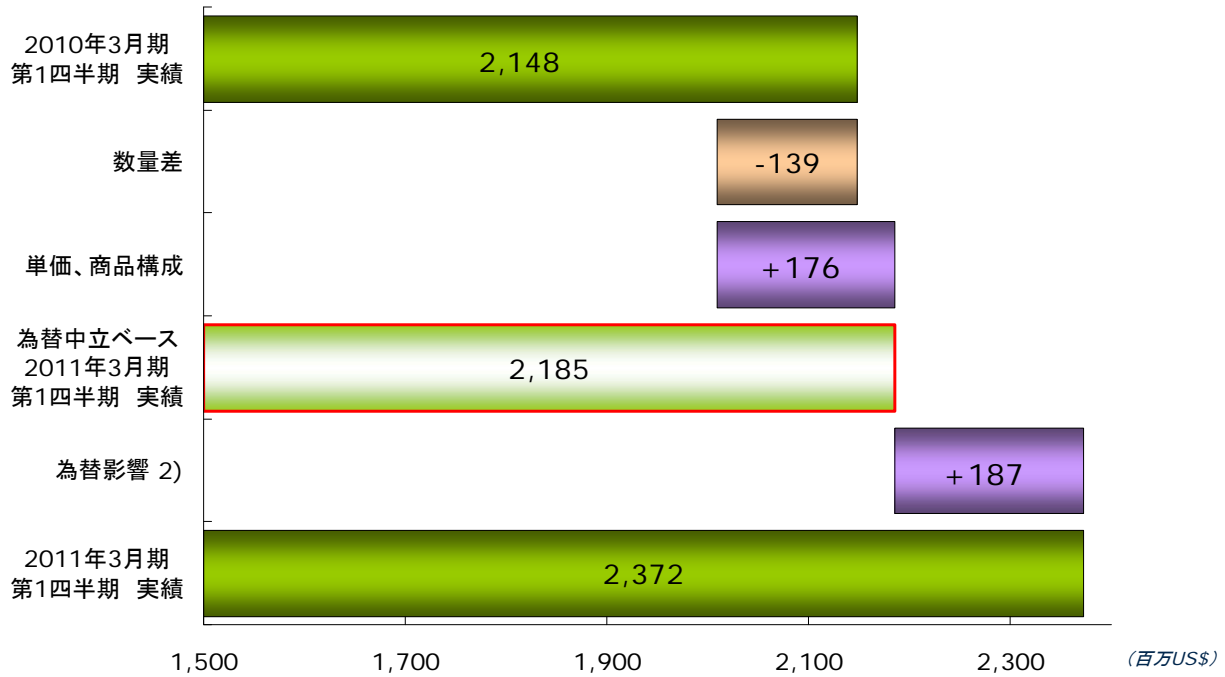
1) JTIからのロイヤリティ受取前、会計基準の変更に伴う一部共通経費の配賦中止後

4



2011年3月期 第1四半期実績

□ 海外たばこ事業 調整後税抜売上高¹⁾



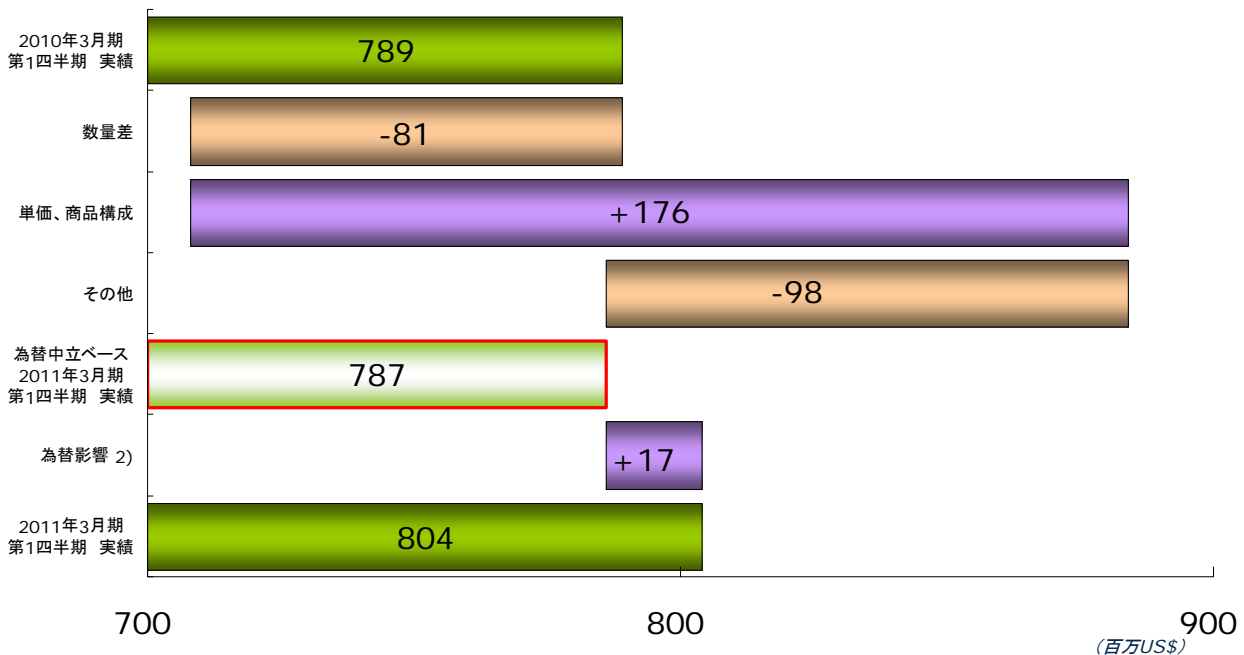
1) 物流事業、葉たばこ販売、製造受託等を控除
2) USドルと各現地通貨との間の為替影響

5



2011年3月期 第1四半期実績

□ 海外たばこ事業 EBITDA¹⁾



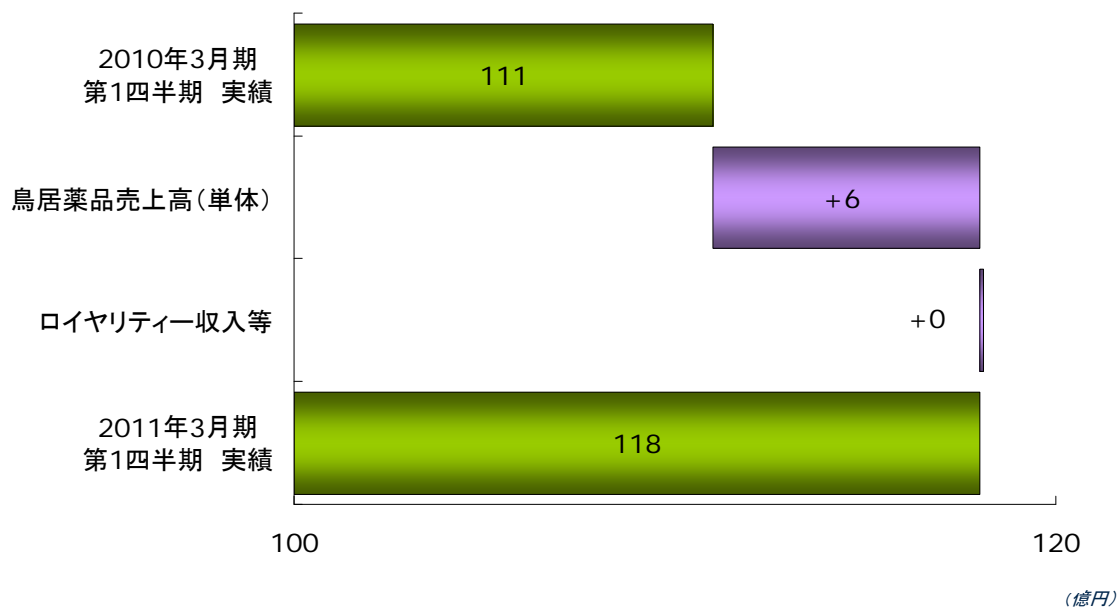
1) JTへのロイヤリティー支払前ドルベース
2) USドルと各現地通貨との間の為替影響

6



2011年3月期 第1四半期実績

□ 医薬事業 売上高

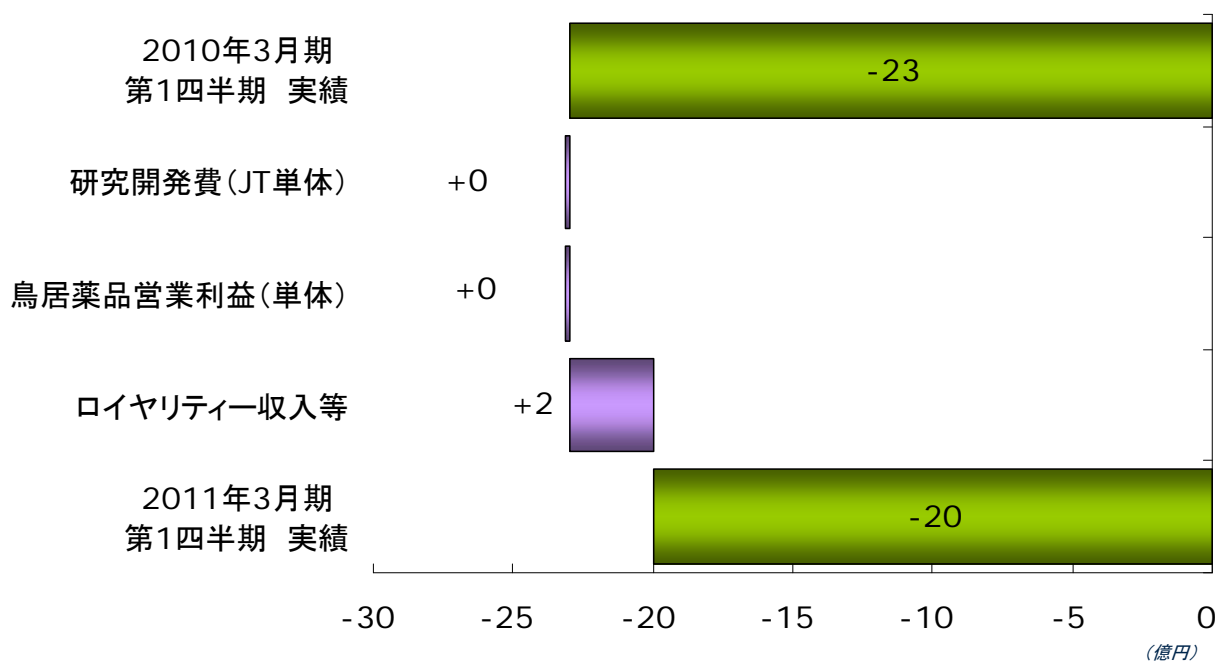


7



2011年3月期 第1四半期実績

□ 医薬事業 EBITDA

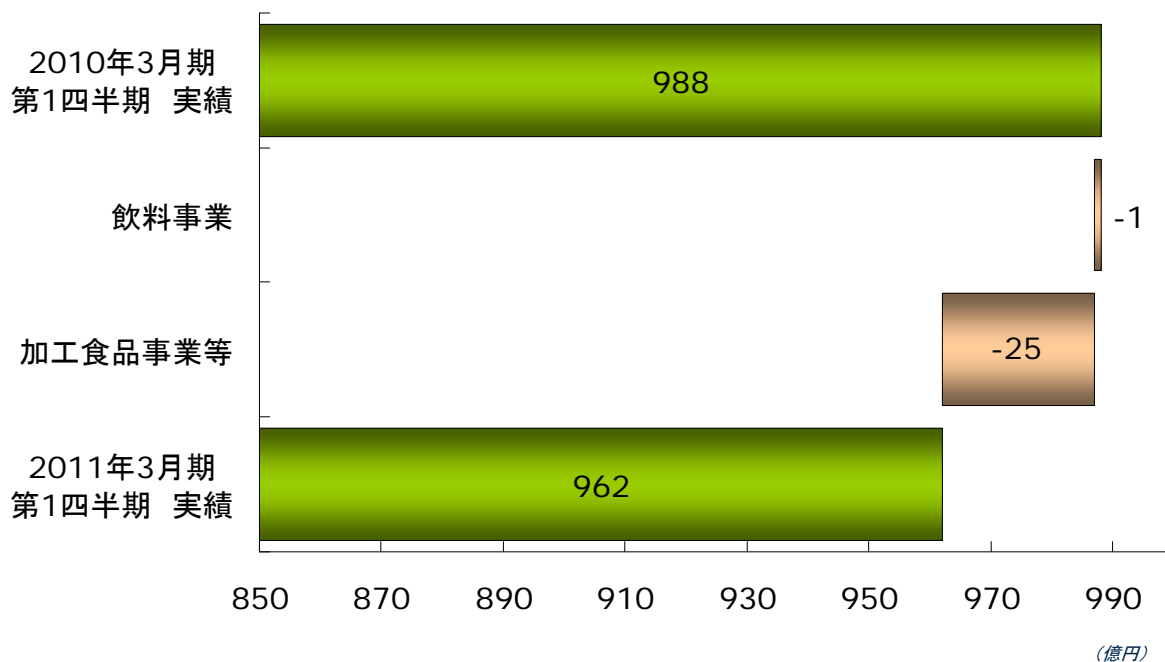


8



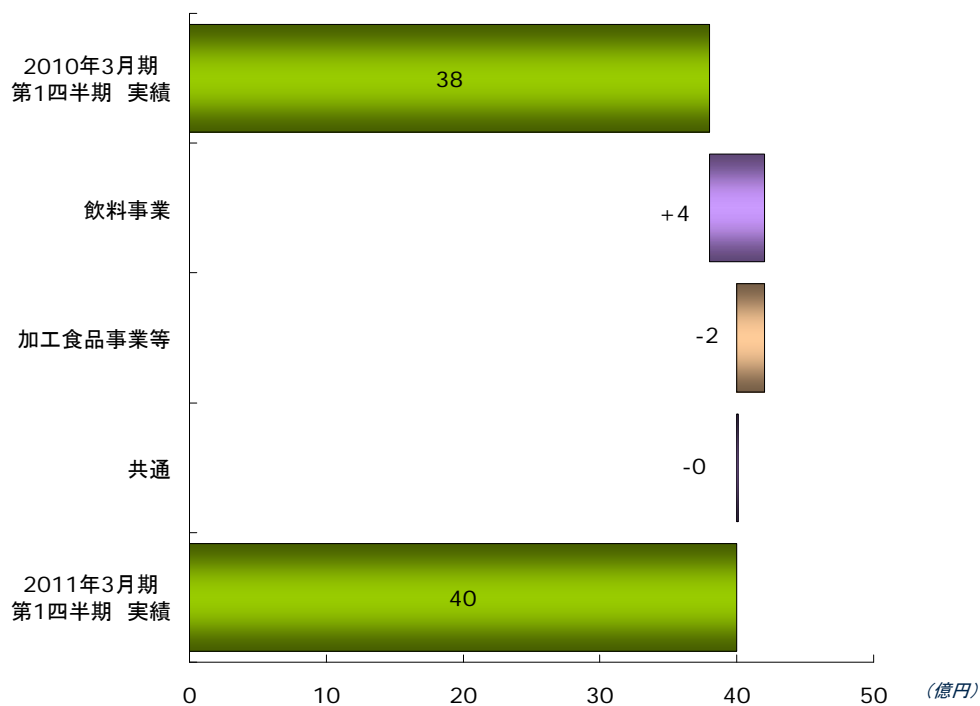
2011年3月期 第1四半期実績

□ 食品事業 売上高



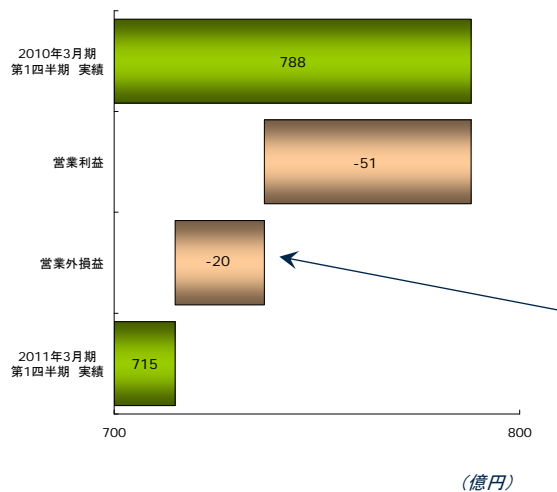
2011年3月期 第1四半期実績

□ 食品事業 EBITDA



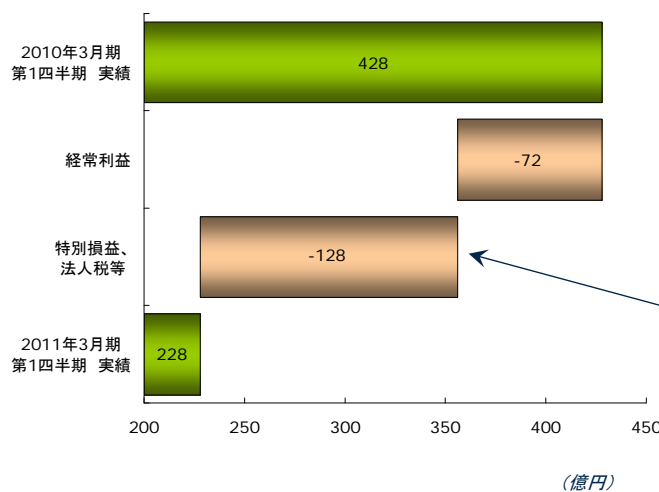
2011年3月期 第1四半期実績

□ 経常利益



改善要因: 支払利息の減: 36億円
悪化要因: 為替差損益の悪化: 37億円
 受取利息・配当金の減: 19億円 等

□ 当期純利益

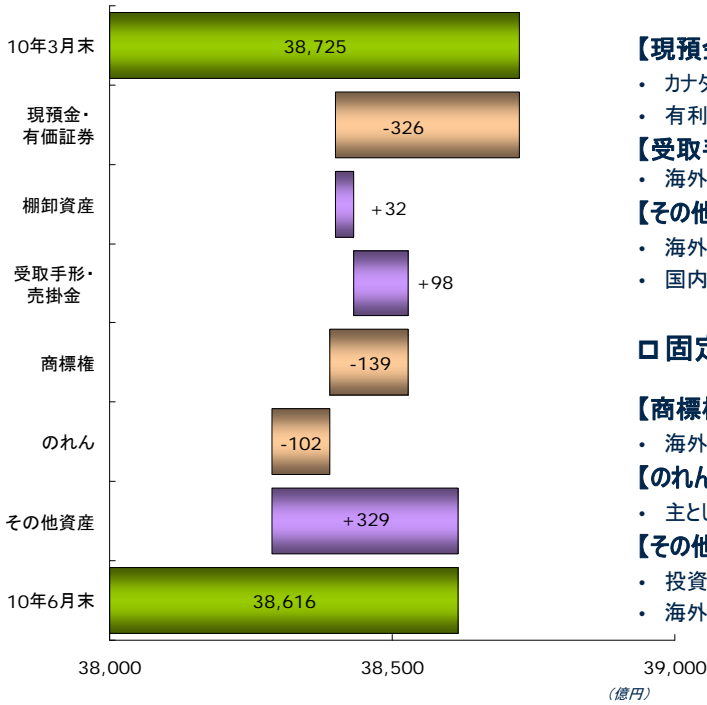


改善要因: 法人税等: 97億円
悪化要因: カナダにおける行政法規違反過料: 132億円
 固定資産売却益の減: 87億円 等

(このスライドは空白です)

2011年3月期第1四半期末 連結貸借対照表のポイント

□ 資産の部 2010年3月末・2010年6月末比較



□ 流動資産: +321億円

【現預金・有価証券減少】△326億円

- ・ カナダ過料支払
- ・ 有利子負債の返済

【受取手形・売掛金増加】+98億円

- ・ 海外たばこ事業での売上高増

【其他流動資産増加】+517億円

- ・ 海外たばこ事業の前払たばこ税増
- ・ 国内たばこ事業前渡金増

□ 固定資産△430億円

【商標権の減少】△139億円

- ・ 海外たばこ事業での現地通貨安および償却

【のれんの減少】△102億円

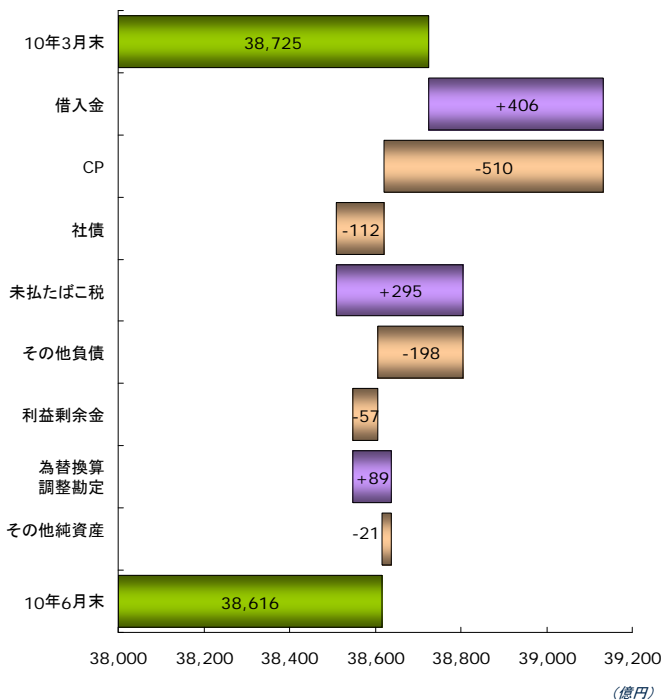
- ・ 主として海外たばこ事業でのれんの償却

【其他固定資産の減少】△188億円

- ・ 投資有価証券の売却
- ・ 海外たばこ事業における繰延税金資産減少

2011年3月期第1四半期末 連結貸借対照表のポイント

□ 負債・純資産の部 2010年3月末・2010年6月末比較



□ 負債合計: △119億円

【借入金増】+406億円

【CP減少】△510億円

【社債減少】△112億円

【未払たばこ税増】+295億円

- ・ 海外たばこ事業(UK等での増)

□ 純資産合計: +9億円

【利益剰余金の増加】△57億円

- ・ 配当金支払い影響

【為替換算調整勘定】+89億円

- ・ 期末の円ドルレートが円安(92.10→93.04)

2011年3月期 第1四半期 決算データ集(2)

2011年3月期連結業績予想

(単位:億円)

	10年3月期 実績	11年3月期 見込	増減
税込売上高	61,346	59,800	△ 1,546
EBITDA	5,267	5,130	△ 137
営業利益	2,965	2,950	△ 15
経常利益	2,553	2,760	206
当期純利益	1,384	1,330	△ 54
ROE(株主資本利益率)	8.6%	8.0%	△ 0.6%pt
フリーキャッシュフロー	2,507	1,350	△ 1,157
(参考:のれんの償却影響を除く)			
当期純利益	2,358	2,260	△ 98
EPS(円)	24,621.42	23,590.59	△ 1,030.83
1株当たり配当金(円)	5,800	5,600	△ 200
配当性向	23.6%	23.7%	0.1%

(単位:億円)

	10年3月期 実績 (新会計基準) ^(注4)	11年3月期 見込 (新会計基準) ^(注4)	増減
資本的支出 ^(注1)	1,371	1,720	348
国内たばこ事業	426	620	193
海外たばこ事業 ^(注1)	645	680	34
医薬事業	26	25	△ 1
食品事業	234	350	115
その他/全社・消去	38	45	6

(参考)

(単位:百万ドル)

海外たばこ事業	9,682	10,480	798
調整後税抜売上高 ^{(注1)(注3)}			
海外たばこ事業EBITDA ^(注1) (ロイヤリティ支払前)	2,965	3,330	365

(注1):海外たばこ事業は、1-12月期の実績

(注2):国内たばこ事業の輸入たばこ、国内免税、中国等を控除

(注3):海外たばこ事業の物流事業、葉たばこ販売、製造受託等を控除

事業セグメント別業績予想^(注4)

(単位:億円)

	10年3月期実績 (旧会計基準)	10年3月期実績 (新会計基準)	11年3月期見込 (新会計基準)	11年3月期 対前年増減 (新会計基準)
税込売上高 ^(注1)	61,346	61,346	59,800	△ 1,546
国内たばこ事業	30,428	30,428	28,320	△ 2,108
海外たばこ事業 ^(注1)	26,336	26,336	26,990	653
調整後税抜売上高 ^{(注1)(注2)(注3)}	19,809	19,809	19,730	△ 79
国内たばこ事業 ^(注2)	6,159	6,159	5,760	△ 399
海外たばこ事業 ^{(注1)(注3)}	9,067	9,067	9,440	372
医薬事業	440	440	445	5
食品事業	3,946	3,946	3,900	△ 46
その他の売上高	195	195	185	△ 10
EBITDA ^{(注1)(注5)}	5,267	5,267	5,130	△ 137
国内たばこ事業	2,576	2,512	2,190	△ 322
海外たばこ事業 ^(注1)	2,498	2,776	3,000	223
医薬事業	△ 96	△ 96	△ 145	△ 48
食品事業	144	144	185	40
その他/全社・消去	143	△ 70	△ 100	△ 29
営業利益 ^(注1)	2,965	2,965	2,950	△ 15
国内たばこ事業	2,033	1,987	1,720	△ 267
海外たばこ事業 ^(注1)	1,091	1,369	1,660	290
医薬事業	△ 135	△ 135	△ 185	△ 50
食品事業	△ 136	△ 136	△ 90	46
その他/全社・消去	113	△ 118	△ 155	△ 36
減価償却費 ^{(注1)(注6)}	2,301	2,301	2,180	△ 121
国内たばこ事業	543	525	470	△ 55
海外たばこ事業 ^(注1)	1,407	1,407	1,340	△ 67
医薬事業	39	39	40	0
食品事業	281	281	275	△ 6
その他/全社・消去	30	48	55	6

(注4):セグメント情報等の開示に関する会計基準の変更にもない、事業セグメント別指標の定義を変更。

国内たばこ事業のEBITDAおよび営業利益はロイヤリティー受取前、

海外たばこ事業のEBITDAおよび営業利益はロイヤリティー支払前の利益を表示。

また共通経費(減価償却費を含む)、資本的支出の各事業部門への配賦方法を変更。

(注5):EBITDA=営業利益+減価償却費^(注6)

(注6):減価償却費=有形固定資産、無形固定資産(商標権含む)、長期前払費用及びのれんの償却費

業績予想の主な前提条件

(1)国内たばこ事業

(単位:億本)

	10年3月期 実績	11年3月期 見込	増減
販売数量	1,518	1,275	△ 243

※販売数量からは国内免税販売分及び中国事業部分を除く。

(2)海外たばこ事業

	10年3月期 実績	11年3月期 見込	増減
販売数量※	4,349	4,330	△ 19
GFB販売数量	2,434	2,500	66
円/USドルレート	93.65	90.00	△ 3.65
RUB/USドルレート	31.77	29.50	△ 2.27
GBP/USドルレート	0.65	0.65	0.00
EUR/USドルレート	0.73	0.68	△ 0.05

※Private Brand、製造受託を除き、Cigar/Pipe/Snus込み

主要投資案件ののれん償却費

海外たばこ事業 (単位:百万ドル)

	10年3月期 実績	11年3月期 見込	償却年数
旧RJRI及び旧Gallaher関連	904	915	20年

(注):のれんの償却終了は、旧RJRIが'19年4月、旧Gallaherが'27年3月

:のれん償却費は旧RJRI、旧Gallaher、その他を含む

食品事業 (単位:億円)

	10年3月期 実績	11年3月期 見込	償却年数
テーブルマーク(旧加ト吉)関連	104	91	5年

(注):のれんの償却終了は、'12年12月 2010年3月期はテーブルマーク(旧加ト吉)子会社の一括償却を含む

主要投資案件の商標権償却費

国内たばこ事業 (単位:億円)

	10年3月期 実績	11年3月期 見込	償却年数
旧RJRI関連	29	-	10年

(注):'09年4月に償却終了

海外たばこ事業 (単位:百万ドル)

	10年3月期 実績	11年3月期 見込	償却年数
旧RJRI及び旧Gallaher関連	242	240	主に20年

(注):商標権の償却終了は、旧RJRIが'19年4月、旧Gallaherが'27年3月

国内JT製品データ集

(注)：表中の数値には中国、香港、マカオ市場および国内免税市場販売分は含まれておりません。

国内たばこ事業関係係数

1. 四半期別販売数量

(単位：億本)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2008年度	420	408	407	362	1,599
2009年度	390	395	388	343	1,518
2010年度	359				

2. 四半期別定価代金

(単位：億円)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2008年度	6,269	6,086	6,073	5,399	23,828
2009年度	5,817	5,891	5,785	5,123	22,617
2010年度	5,354				

(注)：販売定価代金 = 販売数量 × 小売定価

3. 四半期別千本当売上高

(単位：円)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2008年度	12,699	12,693	12,699	12,699	12,698
2009年度	12,693	12,689	12,691	12,696	12,692
2010年度	12,686				

(注)：本項目では、販売定価代金から販売店マージン、消費税を差し引いたものを売上高としております。
千本当売上高 = (販売定価代金 - 販売店マージン - 消費税) / 販売数量 × 1,000

4. 四半期別千本当税売上高

(単位：円)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2008年度	4,056	4,054	4,060	4,058	4,057
2009年度	4,056	4,055	4,057	4,058	4,056
2010年度	4,054				

(注)：本項目では、販売定価代金から販売店マージン、消費税を差し引いたものを売上高としております。
千本当税売上高 = { 販売定価代金 - 販売店マージン - 消費税 - たばこ税(国税) - たばこ税(地方税) - たばこ特別税(国税) } / 販売数量 × 1,000

5. 四半期別シェア

(単位：%)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2008年度	64.9	64.9	65.2	65.2	65.1
2009年度	65.1	64.8	65.0	64.8	64.9
2010年度	64.5				

伸張セグメントシェア

1. 四半期別タール1mgセグメントシェア

(単位：%)

①JT タール1mg製品市場シェア					
	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2008年度	14.5	14.5	14.9	14.9	14.7
2009年度	14.9	14.8	15.2	15.6	15.1
2010年度	15.7				

(単位：%)

②1mg市場シェア					
	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2008年度	23.2	23.0	23.5	23.7	23.3
2009年度	23.9	23.8	24.1	24.5	24.1
2010年度	24.7				

(単位：%)

③セグメント内シェア					
	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2008年度	62.4	63.0	63.3	62.8	62.9
2009年度	62.3	62.2	63.0	63.8	62.8
2010年度	63.6				

2. 四半期別メンソールセグメントシェア

(単位：%)

①JT メンソール製品市場シェア					
	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2008年度	7.5	7.4	7.8	7.7	7.6
2009年度	7.6	7.9	8.0	8.5	8.0
2010年度	8.4				

(単位：%)

②メンソール市場シェア					
	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2008年度	21.9	22.1	22.2	22.4	22.1
2009年度	22.6	23.2	23.0	23.5	23.1
2010年度	23.9				

(単位：%)

③セグメント内シェア					
	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2008年度	34.3	33.5	35.0	34.5	34.3
2009年度	33.8	34.2	34.7	36.2	34.7
2010年度	35.2				

3. 四半期別320円以上製品セグメントシェア

(単位：%)

①JT 320円以上製品市場シェア					
	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2008年度	5.2	5.0	5.4	5.2	5.2
2009年度	5.1	5.0	5.2	5.2	5.1
2010年度	5.1				

(単位：%)

②320円以上市場シェア					
	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2008年度	23.9	24.0	24.6	24.5	24.2
2009年度	23.9	23.8	24.1	24.8	24.6
2010年度	24.7				

(単位：%)

③セグメント内シェア					
	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2008年度	21.7	20.7	22.2	21.4	21.5
2009年度	21.3	21.0	21.4	21.1	20.7
2010年度	20.7				

4. 四半期別D-spec製品シェア

(単位：%)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2008年度	5.10	4.82	5.04	4.85	4.96
2009年度	4.76	4.66	5.25	5.31	5.21
2010年度	10.91				

* ビアニッショ及びプレミアは2006年3月、ベヴェル・フレアは2006年12月、キャスターは2010年4月よりD-spec製品として販売しております。

医薬事業 臨床開発品目（2010年7月29日現在）

開発名	開発段階	主な適応症	作用機序	詳細	権利
JTT-705 (経口)	国内：Phase2	脂質異常症	CETP（コレステリルエステル転送蛋白）阻害	HDL（高密度リポ蛋白：善玉コレステロール）中のコレステロールをLDL（低密度リポ蛋白：悪玉コレステロール）に転送するCETPを阻害することにより、血中HDLを増加させる	スイスのロシュ社へ日本を除く全世界の開発・商業化権を導出（同社ではPhase3）
JTT-130 (経口)	国内：Phase2 海外：Phase2	脂質異常症	MTP（マイクロソームトリグリセリド転送蛋白）阻害	MTPを阻害することにより、コレステロール及びトリグリセリドの吸収を抑制し、脂質値を低下させる	
JTK-303 (経口)	国内：Phase1	HIV感染症	インテグラーゼ阻害	HIV（ヒト免疫不全ウイルス）の増殖に関わる酵素であるインテグラーゼの働きを阻害する	米国ギリアド・サイエンシズ社へ日本を除く全世界の開発・商業化権を導出（同社ではPhase3）
JTT-302 (経口)	海外：Phase2	脂質異常症	CETP（コレステリルエステル転送蛋白）阻害	HDL（高密度リポ蛋白：善玉コレステロール）中のコレステロールをLDL（低密度リポ蛋白：悪玉コレステロール）に転送するCETPを阻害することにより、血中HDLを増加させる	
JTT-305 (経口)	国内：Phase2	骨粗鬆症	CaSR（カルシウム感知受容体）拮抗	副甲状腺細胞のCaSRに作用し、血中Caの感知を阻害することで副甲状腺ホルモンの分泌を促し、骨の代謝回転を高めることにより骨形成を促進する	米国メルク社へ日本を除く全世界の開発・商業化権を導出
JTS-653 (経口)	国内：Phase2	鎮痛、過活動膀胱	TRPV1（パノイド受容体1）阻害	知覚神経に存在するTRPV1の働きを阻害することにより症状を改善する	
JTT-654 (経口)	国内：Phase1 海外：Phase2	2型糖尿病	HSD-1（11βヒドロキシステロイド脱水素酵素）阻害	HSD-1の働きを阻害することにより、過剰なグルココルチコイド作用を抑制する	
JTK-656 (経口)	海外：Phase1	HIV感染症	インテグラーゼ阻害	HIV（ヒト免疫不全ウイルス）の増殖に関わる酵素であるインテグラーゼの働きを阻害する	
JTT-751 (経口)	国内：Phase2	高リン血症	リン吸着剤	消化管内で食物から遊離するリンを吸着することで、リンの体内吸収を抑える	米国ケリックス・バイオファーマシューティカルズ社より日本における開発・商業化権を導出（島居薬品と共同開発）
JTK-853 (経口)	海外：Phase1	C型肝炎	HCV RNA ポリメラーゼ阻害	HCVの増殖に関わる酵素であるポリメラーゼを阻害する	

* 開発段階の表記は投薬開始を基準とする

前回（2010年4月28日）公表時からの変更点：JTS-653 国内臨床試験 Phase1からPhase2へ移行